

井原市公共交通会議 会議内容

と き 平成22年8月10日(火)

13:00から14:30

ところ 井原市役所4階401.402会議室

1. 開 会

2. 協 議

1) 地域公共交通総合連携計画策定案総委託業者の決定について

・質問なし

2) 調査事項の内容について

・アンケート調査

(会 長) 相当複雑と感じた。

(事 務 局) 橋本委員と詰めて作成したい。

(会 長) どの程度配布したのか 回収率は? 配布方法は?

(事 務 局) 1万世帯郵送による配布で約3割を回収した。

井原市では約5720世帯を想定している。

通学については生徒さんに、病院、買物等については、よく行かれる方に記入していただくというイメージしている。

(委 員) アンケートは回答する人の立場に立つと高齢者には難しいのではないか。

公共交通に絞って分かりやすいものにしてもらいたい。

項目が沢山あると、どうしても良いという感じになってしまう。

(事 務 局) 十分配慮していきたい。

(委 員) 単純化すると、(バスを)走らせてもらいたいという事でウソを書いてしまう。(その結果)ウソにだまされた計画となる。敢えて間接的な質問をすることによって必要なものを集計分析する必要がある。

なんとなくという感覚的なものから引き出す必要があると考えている。

(会 長) 事務局とすりあわせをして、回収率が上がり本音が聞けるアンケートにしてもらいたい。

(委 員) バスを使っている人とそうでない人では違いが出る。使っている人は前向きな意見が多く、使っていない人の意見は否定的な意見が多い。

これを対比した分析してどちらの意見を重視するのか、この場で検討してもらいたい。

(委 員) 利用者アンケートをするべきでないか。また地域に入って沿線住民の意見を聞いてチェックの必要があると考える。

(事 務 局) 住民説明会・ワークショップではバスを利用している人の意見をきけるよう人選に配慮したい。

乗降調査の際に意見をヒアリングすることも考えられる。

(会 長) 委員の意見に反映する方法で考えてもらいたい。

帰って意見が出れば事務局に伝えてもらいたい。

3. その他

(会 長) 事務局からあるか。

(事 務 局) 特にない。

(委 員) 乗り合いタクシーということは近いところでも乗り継がないといけないのか。

(委 員) 病院の前に置くことができるかという意見。

どこの場所にバス停を置くかということは重要で、使ってもらえる場所に置かないと利用されない。

アンケートをきちんと書いてもらわないと使ってもらえる場所が把握できない。

(会 長) 橋本先生に一言この計画のポイント等お願いしたい。

(委 員) この会議は自分達で公共交通をつくれる場でもある。

使いたいという意見があればこの場に挙げてもらって議論して決まれば実現できる。

帰って周りの方にどう使ったらいいか、どうゆうものがあればいいかと言うことを聞いてもらって次回に挙げてもらいたい。

データをきちんととらないと声の大きい人に引きずられた計画になる。

見直しができる計画なので作りなおせる。作りなおすことに参加してもらって乗ってもらって意見をもらってより良い公共交通を作ってもらいたい。

(委 員) どんなに良いものを作って利用がなければ無くなってしまう。利用しないけど欲しいではまた違ったものになる。使ってもらいたい。

(事 務 局) 次回は 12 月に地域の問題点、アンケート等が議題になると思う。地域の意見を聞いていただきたい。

4. 閉 会

仁科副会長あいさつ